

令和8年

第2回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和8年第2回仙北市議会定例会 市政報告

令和8年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、角館上野庁舎の開庁についてです。

令和6年度より進めてまいりました角館上野庁舎の改修工事が完了し、来週24日に開庁する運びとなりました。

年度途中での部署移転となりますが、市民サービスに影響がないよう留意して行いますのでご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

次に、人口動態についてです。

1月31日現在の人口は2万2,267人で前年同月比539人減、世帯数は1万165世帯で前年同月比77世帯減となっております。今年度1月までの出生届出数は^{しゅっしょうとどけですう}41人となっています。前年同時期の出生届出数は60人で、19人減という状況です。また、1月の転入は9人、転出は28人となっています。

次に、一般会計補正予算(第19号及び第20号)についてです。

第19号の補正額は、1億4,599万3千円の追加で、補正後の額は311億7,072万円です。補正事業は、高齢者世帯等除雪支援事業費、国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金、冬期交通対策費です。

第20号の補正額は、2億2,589万4千円の減額で、補正後の額は309億4,482万6千円です。主な事業は、高度外国人材等受入促進事業費、教育・保育施設給付費、水道事業会計補助金、農地中間管理機構関連ほ場整備事業費、人と地域を創生する観光誘客事業費などです。

繰越明許費補正及び地方債補正は追加及び変更、債務負担行為補正は変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇災害対策部の設置について

市内において雪害による人身被害や建物被害が多発していることから、2月6日午前11時に仙北市災害警戒部から仙北市災害対策部へ格上げしました。

2月17日午後5時時点での雪害被害件数は、屋根からの転落などの人身被害が12件発生しており、このうちお二人がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

建物被害は、空き家の全壊など、住家・非住家合わせて25件発生しております。3月下旬にかけて雪解けも進むことから、公式SNSや戸別受信機などで、雪害事故防止の注意喚起を更に強化し、警戒にあたります。

◇指定金融機関派出所の廃止について

現在、指定金融機関である秋田銀行の派出所を、田沢湖庁舎に午後1時30分から午後2時30分まで、角館庁舎に午前9時30分から午後3時まで開設し、市税等の納付を受付していますが、今般、秋田銀行から派出業務廃止の申し出がありました。

田沢湖庁舎については、会計課が角館上野庁舎へ移転することに伴い、令和8年2月20日、角館庁舎は令和8年3月31日をもってそれぞれ派出所が廃止となります。

廃止後の市税等の納付については、田沢湖庁舎は田沢湖市民センターで、角館庁舎はこれまでと同様に角館市民センターで受付を行い、市民の皆さまへご不便をおかけすることのないように対応してまいります。

【企画部】

◇ふるさと納税について

2月15日現在のふるさと納税寄附額は、37億145万円に達しており、前年同日時点と比べて103.13%と、過去最高額であった昨年度を上回るペースで推移しております。これは、本市の取組にご賛同いただいた全国の皆さまからの温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

一方で、年末時点ではさらに高い伸び率で推移していたことを踏まえ、足元では伸び率がやや鈍化している状況にあります。米をはじめとする主力返礼品を取り巻く価格動向や確保環境の変化に加え、ふるさと納税制度を巡る国の動きなど、外部環境は引き続き不透明であり、これまで以上に的確な対応が求められております。

こうした中であっても、返礼品の安定的な確保と品質管理を徹底するとともに、寄附者ニーズの把握と本市の魅力発信を一層強化し、持続的な寄附の確保に努めてまいります。

今後も、制度改正や市場動向に柔軟に対応しながら、より多くの方々に仙北市を応援していただけるよう取組を進め、市政運営を支える重要な財源として、ふるさと納税を着実に活かしてまいります。

【市民福祉部】

◇ひのきないこども園について

社会福祉法人「はなさき仙北」が運営するひのきないこども園では、令和8年度の入園希望者がなかったことから、令和8年度については休園とすることになりました。

はなさき仙北では、当面必要な施設の維持管理は行うことにしており、8年度中に9年度以降の施設の存続について対応を検討するとの報告を受けています。

【観光文化スポーツ部】

◇令和7年入込客数について

令和7年1月から12月までの観光入込客数の速報値は、物価高騰やクマの出没などの影響もあり、前年比約99%の387万人、宿泊者数は前年比約98%の47万人となりました。一方、インバウンド宿泊者数は順調に伸びており、前年比約131%の5万7千人となりました。

今後も第3次仙北市観光振興計画に基づき、入込客数のみならず消費額の増加や満足度向上につながる施策を展開し、稼げる観光地化を目指します。

◇小正月行事等の状況について

令和7年の小正月行事等は「白岩城址燈火祭^{じょうしとうか}」に始まり、「上桧木内の紙風船上げ」、「角館の火振りかまくら」、「雪ざくらかくのだて」、「角館雛めぐり^{ひな}」が無事に開催されており、この後も「田沢湖高原雪まつり」、「中里のカンデッコあげ」、「なろか」が行われる予定となっています。

紙風船上げについては、秋田内陸線が運休となる異例の開催となりましたが、豪雨被害に遭われた上桧木内地域で活動していただいたボランティアの皆さんの復興への願いや住民の感謝の気持ちを書き込んだ紙風船が打ち上げられ、訪れた観光客を魅了しました。

今後も切れ目のない誘客宣伝活動を通じて、仙北市の観光 PR に努めてまいります。

◇おやま囃子芸能発表会について

2月11日、角館交流センターで角館のお祭り保存会主催の第29回おやま囃子芸能発表会が開催されました。12団体、延べ289名が出演し、日頃の練習の成果を存分に発揮していただきました。

後継者育成の場であるとともに、郷土芸能を多くの方々に知っていただく良い機会ですので、今後も継続していただくよう支援してまいります。

◇田沢湖マラソンの開催について

2月17日、田沢湖マラソン実行委員会が開催され、「第39回田沢湖マラソン」は9月20日(日)に開催することが決定されました。

種目は、フルマラソン、20キロ、10キロ、ペアマラソンを例年どおり実施し、エントリー受付は4月1日から開始します。

多くのランナーにご参加いただけるよう準備を進めてまいります。

報告は以上です。続きまして、令和8年度の施政方針です。